



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月26日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6807 URL <http://www.jae.co.jp>
代表者 (役職名) 社長 (氏名) 秋山 保孝
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	54,892	△2.6	2,815	△29.5	2,285	△34.0	1,409	△30.6
23年3月期第2四半期	56,350	11.6	3,995	660.3	3,464	357.1	2,029	319.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 233百万円(△65.5%) 23年3月期第2四半期 675百万円(―%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	15.55	—
23年3月期第2四半期	22.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	106,280	58,781	55.2
23年3月期	107,890	58,996	54.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 58,686百万円 23年3月期 58,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,500	3.5	7,200	13.5	6,350	14.2	3,900	13.6	43.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	92,302,608株	23年3月期	92,302,608株
24年3月期2Q	1,705,782株	23年3月期	1,702,880株
24年3月期2Q	90,597,729株	23年3月期2Q	90,639,912株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において実施中
あります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績
予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）
3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
(3) 追加情報	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
四半期連結損益計算書	P 6
四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 7
(4) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(5) セグメント情報等	P 8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、期前半は新興国経済に支えられ、回復基調で推移いたしましたが、期後半に入り米国の景気後退に加え、欧州諸国の金融・財政危機により、新興国経済においても成長の減速が懸念される状況となりました。わが国経済も、東日本大震災による混乱や株式市場の低迷に加え、急激な円高の進行により、極めて厳しい事業環境となりました。

当社の関連するエレクトロニクス市場は、スマートフォンやタブレットPCなど、新しい機器の需要は拡大いたしました。震災の影響から期前半において一時的に需要が減少した自動車関連やノートPC、薄型テレビの在庫調整及び需要減、更に期後半には、これまで堅調に推移してきた設備投資関連需要にも減速感が見えはじめるなど、先行き不透明感が強まりました。

このような状況の中で、当社グループは成長市場・機器に対し積極的なグローバル・マーケティングと新製品開発活動の展開により受注・売上拡大を図るとともに、内製化取組み強化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用の抑制など経営全般による効率化を推進し業績向上を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、自動車関連の一時的な需要減や円高の影響により、連結売上高は、548億92百万円（前年同期比97.4%）となり、利益面においては、営業利益28億15百万円（前年同期比70.5%）、経常利益22億85百万円（前年同期比66.0%）、四半期純利益14億9百万円（前年同期比69.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権、たな卸資産の増加、また、積極的な設備投資により有形固定資産が増加いたしました。主として借入金返済による現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べ16億9百万円減少の1,062億80百万円となりました。

負債合計は、主として借入金の減少により、前連結会計年度末に比べ13億93百万円減少の474億99百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上による増加に対し、配当金の支払い及び円高の影響による為替換算調整勘定の減少から、前連結会計年度末に比べ2億15百万円減少の587億81百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6%改善の55.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権、たな卸資産の増加及び法人税等の支払いによるマイナス要因はありましたが、主として、四半期純利益、減価償却費の計上及び仕入債務の増加により61億52百万円のプラス（前年同四半期58億69百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として新製品生産用の有形固定資産取得による支出により73億72百万円のマイナス（前年同四半期45億84百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として借入金の約定返済により20億46百万円のマイナス（前年同四半期34億40百万円のプラス）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ36億86百万円減少の163億10百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期連結業績予想【通期】につきましては、当社の関連するエレクトロニクス市場において、ノートPC、薄型テレビ分野が引続き厳しい状況であることや設備投資関連分野に減速感が見えはじめていること、また、円高が当面続くものと予測されることなどから、平成23年4月27日に公表いたしました予想値を以下のとおり修正いたします。

なお、平成23年10月1日から平成24年3月31日までの間における為替レート（平均）は、78円／米ドルを想定しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	117,000	8,000	7,300	4,500	49.65
今回修正予想 (B)	114,500	7,200	6,350	3,900	43.05
増減額 (B-A)	△2,500	△800	△950	△600	
増減率 (%)	△2.1	△10.0	△13.0	△13.3	
(ご参考) 前期連結実績 (平成23年3月期)	110,592	6,343	5,562	3,434	37.89

(注) 上記、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

この会計基準等の適用に伴い、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定方法が変更となりますが、当第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結累計期間において、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、影響はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,060	16,370
受取手形及び売掛金	22,544	22,753
有価証券	10	—
たな卸資産	9,870	10,061
繰延税金資産	2,479	2,509
その他	3,212	3,637
貸倒引当金	△40	△32
流動資産合計	58,136	55,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,079	17,509
機械装置及び運搬具（純額）	12,244	13,451
工具、器具及び備品（純額）	4,328	4,326
土地	5,266	5,247
建設仮勘定	2,870	2,699
有形固定資産合計	41,790	43,234
無形固定資産	2,078	1,996
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,004	3,043
その他	3,016	2,842
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	5,885	5,750
固定資産合計	49,754	50,980
資産合計	107,890	106,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,028	23,236
短期借入金	5,271	5,264
未払法人税等	770	866
取締役賞与引当金	75	30
その他	5,892	6,129
流動負債合計	35,037	35,526
固定負債		
長期借入金	8,122	6,528
退職給付引当金	5,359	5,154
その他	373	290
固定負債合計	13,856	11,973
負債合計	48,893	47,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,439	14,439
利益剰余金	39,433	40,389
自己株式	△1,227	△1,228
株主資本合計	63,336	64,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218	129
為替換算調整勘定	△4,647	△5,734
その他の包括利益累計額合計	△4,428	△5,604
新株予約権	88	94
純資産合計	58,996	58,781
負債純資産合計	107,890	106,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	56,350	54,892
売上原価	43,770	43,643
売上総利益	12,580	11,248
販売費及び一般管理費	8,585	8,432
営業利益	3,995	2,815
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	115	124
その他	99	51
営業外収益合計	231	191
営業外費用		
支払利息	51	57
固定資産除却損	338	130
為替差損	274	509
その他	97	24
営業外費用合計	762	722
経常利益	3,464	2,285
税金等調整前四半期純利益	3,464	2,285
法人税、住民税及び事業税	1,511	910
法人税等調整額	△76	△34
法人税等合計	1,435	876
少数株主損益調整前四半期純利益	2,029	1,409
四半期純利益	2,029	1,409

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,029	1,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	△88
為替換算調整勘定	△1,272	△1,087
その他の包括利益合計	△1,354	△1,176
四半期包括利益	675	233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675	233
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,464	2,285
減価償却費	4,629	5,533
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△3
取締役賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△45
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△163	△182
受取利息及び受取配当金	△132	△140
支払利息	51	57
為替差損益(△は益)	44	47
固定資産除却損	338	130
売上債権の増減額(△は増加)	△4,227	△767
たな卸資産の増減額(△は増加)	△934	△400
仕入債務の増減額(△は減少)	2,778	418
その他	517	△39
小計	6,342	6,894
利息及び配当金の受取額	49	112
利息の支払額	△52	△57
法人税等の支払額	△685	△810
法人税等の還付額	215	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,869	6,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△532	—
定期預金の払戻による収入	798	—
有形固定資産の取得による支出	△4,144	△6,987
有形固定資産の売却による収入	16	9
投資有価証券の取得による支出	△41	△32
その他	△680	△362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,584	△7,372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,500	—
長期借入金の返済による支出	△785	△1,594
配当金の支払額	△271	△452
その他	△2	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,440	△2,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	△498	△419
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,227	△3,686
現金及び現金同等物の期首残高	13,806	19,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,033	16,310

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	43,935	6,880	5,041	492	56,350	—	56,350
セグメント利益 又は損失(△) (注)1	5,670	△345	524	64	5,914	△1,919	3,995

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費1,919百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	42,842	5,437	6,127	484	54,892	—	54,892
セグメント利益 又は損失(△) (注)1	3,875	94	859	△87	4,743	△1,927	2,815

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費1,927百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。